東京都立中央ろう学校　学校便り　１月号　　発行　　令和７年　１月　８日

Tokyo Metropolitan　Chuo School for The Deaf

中央ウェイ　　１月号

「デジタルを活用したこれからの学び」

主幹教諭　東　雅俊

あけましておめでとうございます。謹んで新春をお祝い申し上げます。2025 年は中央ろう学校の創立 20 周年にあたる年です。また、東京 2025 デフリンピックがあります。皆さまにとって記憶に残る一年間になりますことを祈念いたします。

６月の中央ウェイにも記載しましたが、東京都教育委員会は東京都の教育の方向性を示すものとして、令和６年３月に「東京都教育ビジョン(第５次)」が策定されました。この中に「デジタルを活用したこれからの学び」という項目があります。これから求められる学びの実現に向けて、教育の在り方が変わります。キーワードは「『教える』から『学ぶ』へ」です。主体的・対話的で深い学び、個別最適な学びと協働的な学びこそが東京都が目指すこれからの学びです。この学びの根幹を支えるものがデジタル活用になります。生徒は一人一台端末を文具のように活用することを含めた情報活用能力を向上させ、生徒主体で学びます。私たち教師は生徒の一人一台端末を活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善が求められます。生徒が身に付けるべき能力は３つあります。①学びのプロセス(情報収集、整理分析、プレゼンテーション)、②思考のスキル(情報や思考の比較及び分類)、③デジタルリテラシー(デジタル利活用を適正に行うスキル)。学校においては、これら３つの能力を生徒が身に付け、自己決定する学びを行います。

これからの教育は従来のような教師の話を生徒が見聞きするものではなくなります。生徒が自ら問いを立て、個々に探究し、仲間とディスカッションを重ね、思考を比較検討し、答えを導くような授業が求められます。「『教える』から『学ぶ』へ」というキーワードの下、教育は令和型にシフトしようとしています。中央ろう学校でもデジタルの効果的な利活用を目指して日々実践をしています。今後とも、本校の教育活動への御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

